

正解のない時代に、 どんなビジョンを描くか

社会の変化が加速する中で、
これまでの延長線上に答えがあるとは限りません。

だからこそ、自分なりの視点で考え、
何を選び、どの方向へ進むのかが、より問われる時代になっています。

目の前の課題に向き合うことも、まだ形のない未来を構想することも、
どちらもこれからの社会には欠かせない営みです。

どんなビジョンを描き、どんな社会をつくっていきたいのか。

総務省には、
時代の変化を先取りしながらそうした問いに向き合い、
未来を形にしようと日々奮闘する仲間がいます。
また、未知の課題に立ち向かう中で、自らも成長していける環境があります。

総務省の門戸をたたき、
ともに次の時代を描いてみませんか。